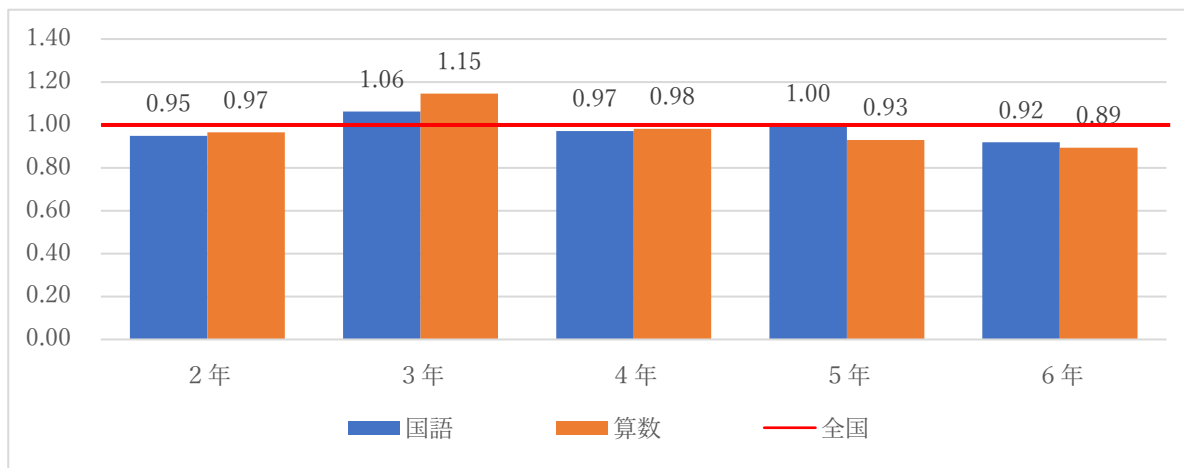


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第七中学校区 堀溝小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	「書くこと」領域において全国平均を上回っている。適切に表現することがある程度できているので、正確に読む力を高める取組との両輪で、ことばの力を付けていく。
	算数	「図形」「測定」「データの活用」領域において全国平均に近い結果である。数学的なものの見方ができる場面を増やすことなど取組の充実を図っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「文章を理解したことに基いて、自分の考えを記述する」問いにおいて全国平均を上回っており、文章の意味を理解すること、意見や考えを表現する取組を一層充実していく。
	算数	「複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述する」問いにおいて全国平均を上回っている。今後も、数学的に考え表現する活動を進める。
	質問紙	「読書は好きですか」の質問に対する肯定的な回答が前年度比10ポイント改善しており、図書の時間、読み聞かせ会を継続して取り組む。

○学力向上の取組

【中学校区】

小小、小中間で、あらためて互いの取組をよく見て、知る。その上でねやがわスタンダードを定着させる取組を実践していく。また家庭学習が本校区の重点課題と捉え、小中一貫した取組について研究する。

【学校】

「書く力」について、着実に伸びてきている。学んだことを活用し、まとめたり発表したりする機会を充実してきたことや、本や資料を使って学びを深める取組を進めてきた成果が見えている。引き続き、「読む力」と「書く力」をバランスよく伸ばす取組を深めていく。